

講義ユニット名		系統解剖学		所属科目名	人体構造学Ⅱ
講義ユニット 責任者	いけがみ こうじ 池上 浩司	所属	解剖学及び発生生物学		
講義ユニット コーディネーター	いけがみ こうじ 池上 浩司	所属	解剖学及び発生生物学		
授業方法		講義中心，講義資料配付，スライド投影，板書			
概 要		「PS-01 基礎医学」の「PS-01-02 個体の構成と機能」 「PS-02 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療」 に関連する項目を扱い，以下のことを目指す。 ・多様な生物のひとつの種であるヒトの体について形態学の面から理解する。 ・人体の構造を分子レベルから肉眼レベルまで関連づけて把握する。 ・人体の構造により担われている機能を理解する。 ・各器官の構造を知ると共にその機能的意味を諸分野の成果も取り入れながら追究する。 端的に言えば，「人体構造学Ⅰ」の発展的内容，および「人体解剖学実習」に関連する内容を学習する。			
講義ユニットの 到達目標		PS-01-02-16 位置関係を方向用語(上・下、前・後、内側・外側、浅・深、頭側・尾側、背側・腹側、近位・遠位、内転・外転)で理解している PS-02-02-01 血液・造血器・リンパ系の構造と機能について基本的事項を理解している (表2-1) 骨髄の構造、脾臓、胸腺、リンパ節、扁桃とPeyer板の構造と機能を説明できる PS-02-03-01 神経系の構造と機能について基本的事項を理解している (表2-2) 中枢神経系と末梢神経系の構成、脳の血管支配と血液脳関門を説明できる (表2-2) 髄膜・脳室系の構造と脳脊髄液の産生と循環を説明できる (表2-2) 脊髄の構造、機能局在と伝導路を説明できる (表2-2) 脊髄神経と神経叢(頸・腕・腰仙骨)の構成及び主な骨格筋支配と皮膚分布(デルマトーム)を説明できる (表2-2) 脳神経の名称、核の局在、走行・分布と機能を説明できる (表2-2) 視覚、聴覚・平衡覚、嗅覚、味覚の受容機序と伝導路を説明できる (表2-2) 交感神経系と副交感神経系の中枢内局在、末梢分布、機能と伝達物質を説明できる PS-02-04-01 皮膚系の構造と機能について基本的事項を理解している (表2-3) 皮膚の組織構造を説明できる PS-02-05-01 運動器(筋骨格)系の構造と機能について基本的事項を理解している (表2-4) 骨・軟骨・関節・靱帯の構成と機能を説明できる (表2-4) 頭頸部の構成、脊柱の構成と機能を説明できる (表2-4) 四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配、骨盤の構成と性差を説明できる (表2-4) 姿勢と体幹の運動にかかわる筋群、抗重力筋を説明できる PS-02-06-01 循環器系の構造と機能について基本的事項を理解している (表2-5) 心臓の構造と分布する血管・神経、冠動脈の特長とその分布域を説明できる (表2-5) 心筋細胞の電気現象と心臓の興奮(刺激)伝導系を説明できる (表2-5) 体循環、肺循環と胎児・胎盤循環を説明できる (表2-5) 大動脈と主な分枝(頭頸部、上肢、胸部、腹部、下肢)を図示し分布域を説明できる (表2-5) 主な静脈、門脈系と上・下大静脈系を説明できる (表2-5) 胸管を経由するリンパの流れを説明できる PS-02-07-01 呼吸器系の構造と機能について基本的事項について理解している (表2-6) 気道の構造、肺葉・肺区域と肺門の構造、肺循環と体循環の違いを説明できる (表2-6) 縦隔と胸膜腔の構造、呼吸筋と呼吸運動の機序を説明できる PS-02-08-01 消化器系の構造と機能について基本的事項を理解している (表2-7) 各消化器官の位置、形態と関係する血管、腹膜と臓器の関係を説明できる (表2-7) 食道・胃・小腸・大腸の基本構造と部位による違いを説明できる (表2-7) 消化管運動の仕組み、肝の構造と機能を説明できる (表2-7) 大腸における糞便形成と排便の仕組みを説明できる (表2-7) 歯、舌、唾液腺の構造と機能、咀嚼と嚥下の機構を説明できる			

	PS-02-09-01 腎・尿路系の構造と機能について基本的事項を理解している (表2-8) 腎・尿路系の位置・形態と血管分布・神経支配を説明できる (表2-8) 蓄排尿の機序を説明できる PS-02-10-01 生殖器系の構造と機能について基本的事項を理解している (表2-9) 男性生殖器の形態と機能、精巣の組織構造と精子形成の過程を説明できる (表2-9) 陰茎の組織構造と勃起・射精の機序を説明できる (表2-9) 女性生殖器の形態と機能を説明できる PS-02-13-01 乳房の構造と機能について基本的事項を理解している (表2-12) 乳房の構造と機能を説明できる PS-02-14-01 内分泌・栄養・代謝系の構造と機能について基本的事項を理解している (表2-13) 副腎の構造と分泌されるホルモンの作用と分泌調節機構を説明できる PS-02-15-01 眼・視覚系の構造と機能について基本的事項を理解している (表2-14) 眼球と付属器の構造、視覚情報の受容の仕組みと伝導路を説明できる (表2-14) 眼球運動の仕組みを説明できる PS-02-16-01 耳鼻・咽喉・口腔系の構造と機能について基本的事項を理解している (表2-15) 外耳・中耳・内耳の構造、聴覚・平衡覚の受容のしくみと伝導路を説明できる (表2-15) 口腔・鼻腔・咽頭・喉頭の構造、喉頭の機能と神経支配を説明できる (表2-15) 味覚と嗅覚の受容のしくみと伝導路を説明できる
講義日程	詳細はユニット開始の際に配布する日程表を参照のこと。
出席の取り扱い	出席は広島大学医学部医学科のグランドルールに従う。 出席はオンラインフォームの提出および学生証の読み取りにより行う。 講義の出席が3分の2に満たない学生については試験を受けられない。 ※第1回講義は解剖学実習ガイダンスと倫理教育となっております欠席は厳禁である。
評価項目	試験の成績、講義への参加態度（講義中のミニテストへの参加など）
評価法	試験は「人体解剖学実習」も含んだ総合試験とし、講義と実習を通して身に着けた人体構造の理解度を総合的に評価する。
予習・復習へのアドバイス	[予習] 授業資料は事前に配布されるので、ざっと目を通しておくとよい。 [復習] 講義内容は並行して進む人体解剖学実習の内容と強くリンクしており、毎日の実習の予習と復習の際にメモを書き込んだ授業資料を見返すことで理解が格段に深まるはずである。
履修上の注意 アドバイス	同時期に人体解剖学実習、組織学が進行中である。 マクロとミクロの両視点で相互に関連させて学ぶことが重要である。
推奨参考書	1. 「解剖学講義（改定3版）」伊藤隆 原著，高野廣子 改訂（2012）南山堂．¥11,880．解剖学の『幹』から『主要な枝葉』を理解するにはちょうど良いボリュームである。 2. 「イラスト解剖学（第10版）」松村譲児 著（2021）中外医学社．¥8,360．通称「イラ解」．各項目が1頁から見開き2頁に収められており、項目毎の重要なポイントが一目で分かる．試験前には重宝するだろう．しかし、それ故に単なる暗記になってしまう危険性もあるため、他の推奨図書をメインに、本書は補助の学習教材とするのが好ましい。 3. 「臨床のための解剖学（第3版）」K.L. Moore, A.F. Dalley, A.M.R. Agur 原著，佐藤達夫・坂井建雄 監訳（2024）メディカル・サイエンス・インターナショナル．¥15,950．純然たる解剖学だけを学ぶよりも、先取りで臨床と絡めて解剖学を学ぶ方が効率も良く、また、解剖学の意義もより強く感じられることであろう．高学年になっても使える1冊。 4. 「Gray's Anatomy, 42e」Susan Standring 編．¥56,122（南江堂で2024/2/21現在）．細胞学，組織学，肉眼解剖学，発生学と「人体構造学」の全てをカバーしている．kindle版もある（¥25,386）． 5. 「カラー図解 人体の正常構造と機能 全10巻縮刷版 改訂第5版」坂井建雄，河原克雅 著（2025）．¥19,800．電子書籍付き．解剖学，組織学，生理学をカバーしており，広く深く人体の仕組みを学ぶのに適した1冊である．高学年になっても『辞書』のように使える。